

# 令和 4 年度 事業報告書



株式会社 日電工業

デイサービスセンター長生東



## 1. 事業実績

### (1) 令和4年度 利用実績（稼働率）

△	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数(人)	320	337	361	336	216	317	319	346	303	266	304	355	3,780
平均利用者数(人)	14.5	16.0	16.4	15.3	9.8	14.4	15.2	15.7	15.2	13.3	15.2	15.4	176.5
稼働率	81%	89%	91%	85%	55%	80%	84%	87%	84%	74%	84%	86%	82%

・年間平均稼働率は前年度の88%と比較して今年度は82%と低下した。原因のひとつはコロナウィルス関連での休業が8日間が影響している。

特に8月はクラスターとなり5日間休業したため、稼働率は55%となっている。

### (2) 登録利用者の男女・介護度の状況（令和5年3月現在）

△	申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男(人)	0	0	0	3	2	2	0	1	8
女(人)	0	1	2	6	7	8	2	0	26
合計(人)	0	1	2	9	9	10	2	1	34

・平均介護度は2.25（要支援は除く）。年々平均介護度は下がってきている。

以前に比べて重度者が特別養護老人ホームへ入所がしやすくなっていることも原因のひとつである印象。

### (3) 圏域ごとの利用者数と割合（令和4年3月現在）

△	ほんのう	ちゅうおう	もばら	みなみ	他市町村	合計
人数(人)	21	6	4	3	0	34
割合	62%	18%	12%	9%	0%	100%

・積極的に施設所在地である『ほんのう地域』の利用者の受け入れを進めており、前年度の『ほんのう地域』の割合の48%から大幅に増加して62%と過半数を超えた。

施設近隣からの利用者である事により、例えば利用中に救急要請をしたときに救急隊が到着とほぼ同時に家族が施設に駆けつけることができる等、素早い対応が可能となっている。

登録利用者の約30%の10名は独居であり、内6名は『ほんのう地域』の方である。今後も近隣地域からの利用者受け入れを進め、地域の包括や民生委員、自治会、派出所、郵便局や商店などとの連携をとり地域住民の在宅生活の支援をおこなっていく。

(4) 取引先の居宅介護支援事業所（令和5年3月現在）

事業所名	人数	事業所名	人数
居宅介護支援事業所長生東	10	ケアプランだるまさん	1
ボーソーヒルズ居宅支援事業所	2	茂原市ほんほう地域包括支援センター	1
ケアプランここね	3	あおばケアプランサービス	1
茂原訪問看護ステーション	3	居宅介護支援センター実恵園	1
グッドケア居宅介護支援事業所	2	居宅介護支援事業所ふらんどーる	1
モルゲンケアプラン	2	むうみんケアセンター	1
居宅介護支援センター睦沢園	1	ケアプランすまいる	1
いきいきケアサポート居宅介護支援事	1	セントケア	1
いこい居宅介護支援事業所	1	介護老人保健施設つくも苑	1

・(3) での『ほんのう地域』の積極的な受け入れは併設している居宅介護支援事業所でも同様であるため、同法人のケアマネジャーのケースが長生東のデイサービスの利用を希望することが増えてきており、約30%利用者をしめている。

運営リスクの為にも他法人の居宅介護支援事業所からの紹介を増やすことが急務であり積極的な施設アピールを進めていく。

(5) ヒヤリハット・事故・相談苦情

(I) ヒヤリハット

・毎月の職員会議で1ヶ月の内に挙がったヒヤリハットを検証し、生活相談員、介護職員、看護職員の他職種で再発防止策を検討している。

- 内容
- ・送迎車両がぬかるみにはまつた
  - ・機能訓練機器の不具合
  - ・利用中、利用者自宅の窓が開いており猫が入っていた
  - ・利用者が外に出ようとしていた
  - ・利用者の荷物の忘れ物
  - ・手洗い場の水が出しつぱなしになっていた

- ・利用者がバランスを崩して転倒しそうになった
- ・上靴で帰宅してしまった
- ・食材納入会社からの納品の食数が足りなかった
- ・ゴミ箱に機能訓練用の針と糸が捨てられていた
- ・塩分制限の利用者に漬物を配膳してしまった
- ・施設内に猫が入りゴミを漁っていた
- ・風呂の水道管が凍結していた

## （II）事故

送迎事故 物との接触 1 件

外傷 0 件

転倒 2 件

## （III）相談・苦情

利用者及び家族からの相談や苦情に関してヒヤリハット同様に職員会議にて職員間で共有して対応を検討している。

- 内容
- ・お茶の味がしない（利用者）
  - ・軟飯で頼んであるけどご飯が硬くて食べられなかった（利用者）
  - ・連絡帳に『ウトウトしていた』と書かないでください。本人が気にします（家族）
  - ・食事の量が多すぎる（利用者）
  - ・トイレの訴えに気づいてもらえず漏らしそうになった（利用者）
  - ・食事の肉が硬かった（利用者）

## （6）事業計画における事業目標について

・感染症の蔓延や災害発生時においても継続した支援が行えるよう、予防や非常災害時に備える。また、当施設利用者のみならず、地域の高齢者が継続した支援を受けられるよう他法人とも連携を図る。

⇒コロナウィルス予防に努めていたが、8月にクラスターを発生させ1週間休業し、通所としての支援を中断することとなってしまった。

事前に複数の近隣地域密着型通所介護と有事の際の緊急受け入れの相談はしていたものの、陽性者の発症時期に差があり、明確な感染日が特定できず、陰性者であっても陽性者との接触の有無が確定できず緊急受け入れの相談ができる状況ではなかった。

事前の連携は図っていたものの結果として利用者に継続した通所サービスが利用できる状況は作れなかった。

- ・年間稼働率80%以上を保つ。

前述のとおり、今年度の平均稼働率は82%、前年度の稼働率88%からは大きく下回ったが目標の80%以上は達成できた。

## 2. 職員研修

月に1回職員研修を行っている。(別紙参照)

## 3. 避難訓練

9月（火事想定）3月（地震大津波警報想定）に避難訓練を行った。



## 4. コロナウィルスについて

【休業】今年度は陽性者発生のため、3度の休業を行った。

①3/31（木）の利用者が利用中に発熱。迎え時「家族に不調者はいない」と話していたが、発熱後に「息子が熱を出して（仕事を）休んでいる」と話した。翌日夕方に家族がコロナウィルス陽性との連絡があり4/2（土）を休業した。その後、利用者本人も陽性反応が出たと報告があった。他利用者等に感染はなかった。

②8/7（日）から職員、利用者に陽性反応が続き、職員4名、利用者4名が陽性者となつた。8/7（日）～8/15（月）まで休業（内営業日5日）した。

感染経路は不明。

③1/13（金）の利用者が1/16（月）に陽性反応が出たため、1/17（火）～1/18（水）を休業した。他に感染者はなかった。

### 【今後の対応】

3月には厚労省よりマスクについて自己判断とする、5月には5類への引き下げが行われたが、当施設では当面今まで通りの対応を継続する。

今後、どのタイミングで対応を解除していくか慎重に検討していく。

## 5. ホームページのリニューアル及び SNS の活用について

12月よりホームページを新しく作成した。作成に当たっては茂原市による中小事業者サポート補助金を受けた。

同時に施設紹介動画を利用者向け、求人者向けの2通り作成した。

動画はホームページの他、YouTube にアップしている。

また、facebook、Instagram も活用して施設での出来事などを発信している。

ホームページでは運営推進会議資料等を公開して運営の透明性を図っている。

【長生東ホームページ】 <https://chousei-higashi.com/>



## 6. 総括

今年度も前年同様にコロナウィルスの対応に追われる1年だった。

8月には合計8名の陽性者を出しクラスターを発生させてしまった。

感染経路が不明なまま、強い感染力で次々と陽性反応の報告があり、恐怖と今後の通所運営について大きな不安を感じたことが今でも鮮明に記憶している。

その後は1月に陽性者が1名出たが判断に迷うことなく休業を選択し、他者への感染を防いだ。

休業により本人、家族、休業の間フォローして下さった訪問介護等の他事業所には大きな迷惑と心配をお掛けしてしまった。

続いた休業により稼働率の低下、大きな収入減少にもつながった。

現在は感染者も減少し、令和5年5月には5類への移行もあり状況は平時に戻りつつあるが、完全終息には至っておらず、継続して感染予防に努めていく。

コロナウィルスにより外とのつながりが持ちにくい状況が続いた。施設の状況やサービス内容や雰囲気などが来所や対面をしなくても伝わるよう、ホームページのリニューアルやfacebook、Instagram 等のSNSの活用を進めた。

現在はスマートフォンやタブレットを活用している高齢者も増え、ほとんどの家族はインターネットを使用して介護サービスを調べるようになっている。

今後も積極的にインターネットの活用を進めていく。

令和5年9月で開所10年となる。最近はケアマネジャーからの紹介だけでなく、利用所や家族から長生東利用の希望が増えてきている。徐々に施設の認知も広まってきている印象がある。

施設の利用前提での相談だけでなく、地域住民が気軽に介護保険制度全般の相談に来られるような施設を目指していきたい。

研修実施記録		令和4年度
研修名	参加者	開催日時
介護保険制度と通所介護の位置づけ	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬	4月29日
介護現場におけるハラスメントについて	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬	5月24日
介護現場における個人情報保護とプライバシーについて	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬	7月27日
虐待防止及び身体拘束について	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬	8月25日
法令順守について	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬	9月29日
デイサービスにおける送迎について(交通安全)	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬	10月26日
茂原市フレイルサポートフォローアップ研修	並木	9月30日～11月2日(4日間)
接遇・マナーについて	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬・細谷	12月20日
感染症について(コロナ・インフルエンザ・ノロウィルス)	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬・細谷	1月31日
認知症及び認知症ケアについて	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬・細谷	2月22日
介護記録について	佐久間・並木・上代・佐々木・岩瀬・細谷	3月29日